

## 平成24年度 第2回CCC教育学グループ運営委員会 議事概要

I. 日 時：平成24年7月30日（月） 14：30～16：45

II. 場 所：私立大学情報教育協会 事務局 会議室

III. 参加者：三尾委員、竹熊委員、難波アドバイザー  
(事務局) 井端事務局長、森下主幹、松本職員

### IV. 検討事項

#### 1. 学士力実現に求められる教育改善モデルの検討

事務局より配付資料の説明があり、今回は、配付資料③の教育学教員の教育力の【2】教育改善モデル実現に求められる教育力ならびに【3】教育力を実現するためのFD活動と大学としての課題を検討することとなった。

#### (1) 教育改善モデル実現に求められる教育力

教育学分野の教育改善モデルの特徴、ICTスキルの向上を含んだ形で検討し、まとめた。主要な議論は以下の通りである。

- ・カリキュラムの位置づけとシラバスの調整する力が必要ではないか。
- ・カリキュラムにおける位置づけについての意識合わせが必要ではないか。
- ・学生の主体的な学び、自立／自律学習、グループ学習（協働／協同）に繋げたい。
- ・外部からの協力は授業中、授業後、評価、いろいろな場面で考えられる。最終的に学生の豊かな学びに繋がるものがよい。
- ・ICTの技術についても言及しなければならない。学習過程にも言及できれば良いが、それは別枠で考えるべきである。
- ・ポートフォリオについても言及したい。「主体的な学び」については既に言及しているので、学士力の到達目標である「学びの意義と教育の必要性」という表現を用いたい。

などと検討し、「教育改善モデル実現に求められる教育力」として最終的に6項目にまとめられた。

#### (2) 教育力を実現するためのFD活動と大学としての課題

引き続き、FD活動（学内外）と大学としての課題を検討することとなった。

(1) で掲げた教育力に対応するような形で検討し、ここでいうFD活動とは、具体的な教育内容に関わるものではなく、あくまで教育方法や授業マネジメントに関するものであることが確認された。

以上を踏まえ、必要なFD活動として、カリキュラムの全体像やその中での各授業の教育方法を含めた位置づけの検証、学生理解の共有、指導法についてのワーク

ショップの組織化、研究会の開催などの必要性が挙げられ、最終的に5項目にまとめられた。

同様に、「大学の課題について」も検討し、4項目にまとめられた。

## 2. 今後の検討スケジュールについて

今後の課題について、事務局より分野別の「学士力の到達目標」（到達目標設定の背景と解説含む）に関して、学士力を作成した背景の文章化、到達目標についての説明が欲しいとの提案がなされた。従って次回の会合までに以下の形で案を持ち合うこととなった。なお、次回は8月31日（金）13:30～15:30に開催することとなった。

- ・学士力の背景（全体）について  
分量：A4サイズ 1ページ以内
- ・到達目標の解説  
分量：4～5行くらい

以上